

かわにし市議会だより

2026年(令和8年)

8月

ボ

イ

ス

川西VOICE

<https://www.city.kawanishi.hyogo.jp/gikai/>

川西市議会

検索

川西市議会ホームページ



No.254



6月定例会号(7月臨時会)

- 常任委員会の審査報告
- 審議結果等一覧
- 一般質問で21人が登壇し
市政を問う
- 委員会視察報告



市花りんどう

「猪名川沿い。日没後すぐの幻想的な空と川西の風景。」

撮影者：川西緑台高校 秋月 拓翔さん

川西市総合体育館の大規模改修工事に関する議案など審議 小・中学校における少人数学級の実現を求め意見書提出

令和8年第2回定例会市議会は、6月5日から26日までの22日間の会期で開催されました。

招集日には、ごみ収集車（2トンパッカー車）の買入れに伴う契約案件など、18議案が市長から提出されました。

このうち、川西市こども教育基金条例の制定案については、市民からの1億円の寄付を活用し、教育環境の充実を図るため、こども教育基金を創設しようとするものです。

また、下水道事業会計補正予算案については、ウォーターPPP（国が進める水道の官民連携）の導入に向けた委託経費を追加しようとするもので、これらの議案を付託された常任委員会では、活発な議論が交わされました。

さらに、6月19日には、老朽化した総合体育館のリニューアルを目的とした大規模改修工事の契約案件が追加議案として提出されました（3面参照）。

これらの議案を含め、市長提出議案については、いずれの議案も慎重に審査した上で、全て原案のとおり可決しています（5面参照）。

また、最終日には、「小・中学校におけるさらなる少人数学級推進と義務教育費国庫負担金制度の堅持を求める意見書」を全会一致で可決し、国に送付しています（11面参照）。

このほか、次回の一般選挙後に議員定数を現在の24人から22人に削減する「川西市議会基本条例の

一部改正案」と、選挙後における議員の報酬月額を1割削減する「川西市議会議員の議員報酬等に関する条例の一部改正案」のそれぞれを議員提出議案として提出する手続が進められていました。

しかしながら、議員定数削減案は、議会上程前に取り下げられ、議員報酬削減案のみが上程され、賛成・反対それぞれの立場の議員が討論に立ち、議論が交わされた結果、「川西市議会議員の議員報酬等に関する条例の一部改正案」については、賛成者少数で否決されています。

このほか、第2日から第4日では、3日間にわたって一般質問が行われましたが、議長など、慣例で質問をしない議員を除いた21人の全議員が登壇し、市政全般にわたるさまざまな議論が繰り広げられました（6面から9面参照）。

また、中東情勢の影響により、建設資材の調達が不安定になっていることから、市では、市立多田こども園の整備工事の着工手続を早めることに加え、政府において、物価高騰に伴う支援に向けた重点支援地方交付金に係る補正予算が成立したことを受け、7月8日から13日までの6日間の会期で、第3回臨時市議会が開催されました。この臨時会では、市立多田こども園整備工事請負契約の締結案件と、物価高騰の影響を受ける子育て世帯への支援策を実施するための補正予算案を審議しました（4面参照）。



あいさつ状は お出しできません

議員から残暑見舞状等（答礼のための白筆のものを除く）を出すことは、公職選挙法で禁止されています。

皆さまのご理解をお願いいたします。

永年勤続表彰

5月27日に開催された「第102回全国市議会議長会定期総会」において、本市から次の議員が表彰されました。これを受け、6月5日の第2回市議会定例会招集日に、議長から表彰の報告が行われました。

15年表彰 福西 勝 岡 留美
秋田 修一 北野 紀子

議会の活動状況

5月	6月	7月
11日○厚生文教常任委員会所管事務調査(新潟県妙高市)	29日○議会運営委員会 ○広報委員会	1日○議会運営委員会 ○広報委員会
12日○厚生文教常任委員会所管事務調査(石川県小松市)	5日○第2回市議会定例会(招集日) ○厚生文教常任委員協議会	8日○第3回市議会臨時会(招集日)
15日○議員協議会	○建設常任委員協議会	10日○総務生活常任委員会 ○厚生文教常任委員会
18日○総務生活常任委員会所管事務調査(東京都墨田区)	10日○議会運営委員会	13日○第3回市議会臨時会(最終日)
19日○総務生活常任委員会所管事務調査(東京都町田市)	12日○第2回市議会定例会(第2日) 15日○第2回市議会定例会(第3日) 16日○第2回市議会定例会(第4日)	17日○議員協議会 24日○広報委員会
20日○厚生文教常任委員協議会	17日○総務生活常任委員会	
	○総務生活常任委員協議会 ○議会運営委員会	
	18日○厚生文教常任委員会 ○厚生文教常任委員協議会	
	19日○第2回市議会定例会(第5日) ○建設常任委員会 ○飛行場対策周辺整備調査特別委員会	
	24日○総務生活常任委員会 26日○議会運営委員会 ○第2回市議会定例会(最終日)	

常任委員会 報告

総務生活常任委員会

委員（委員長）◎ 副委員長◎

◎中井 成郷 ◎榮 奈津子
松隈 紀文 加藤 仁哉
大崎 淳正 福西 勝
坂口 美佳 北野 紀子

川西市総合体育館大規模改修工事請負契約の締結について

本案は、川西市総合体育館の大規模改修工事を施工するため、請負契約を締結するにつき、議会の議決を求めるものである。

質問 現在、中東情勢の影響により建設資材の納期の遅延や受注に制約が発生していると考えられるが、工期内かつ適正価格でこの工事に必要な資材調達ができるのか伺いたい。

答弁 工期と価格のいずれも問題はないと見込んでいるが、工事が進捗する中で、実際に納期の遅延や調達ができなくなるようなことが起きた場合においても、代替品の利用や調達ルートの変更によって対応が可能であると考えている。



川西市総合体育館

答弁 工期と価格のいずれも問題はないと見込んでいるが、工事が進捗する中で、実際に納期の遅延や調達ができなくなるようなことが起きた場合においても、代替品の利用や調達ルートの変更によって対応が可能であると考えている。

質問 本案は、出入国管理及び難民認定法等の改正に伴い、在留カード・特別永住者証明書に個人番号カード機能を一体化した特定在留カード等で印鑑登録証明書を取得できるよう条例を改正しようとするものである。

質問 マイナンバーカードが一体化された特定在留カードの取得による対象者への影響を伺いたい。

答弁 これまで在留期間の更新などの際には、各カードで更新手

続が必要であったが、一体化で手続きが1回で済むようになり、利用者の負担軽減と利便性向上が図られるものと考えている。

反対意見 特定在留カード等を取得することによって、行政手続の効率化、本人確認の利便性は向上するものの、一体化は、外国人の管理を強化することにつながり、差別を助長することになると危惧しており、何より、マイナンバー制度そのものに反対をしていることから、本案に反対する。

令和8年度川西市一般会計補正予算（第1回）

質問 監査委員運営事業の報酬において、124万3千円を追加しようとしている点について、令和8年の議員改選後から、議会選出の監査委員を廃止する条例を昨年12月に可決しているが、議会選出の監査委員に代わり、有識者の監査委員を新たに選任することによって3名体制を維持する理由を伺いたい。

答弁 有識者の監査委員を新たに選任することで、報酬の支出額は年額で約224万円増加するが、それぞれの専門的な見地から多角的な意見を交わすことが可能となり、より質の高い監査を実施でき、監査機能の安定性と有効性を高めることができるものと考えている。

賛成意見 監査委員運営事業について、委員を2名にする選択肢もある中、市は3名体制を継続することとした。その結果、年間約224万円の支出増となるが、さらなる監査の充実が図られることを要望し、本案に賛成する。

厚生文教常任委員会

委員（委員長）◎ 副委員長◎

◎田中 麻未 ◎川北 将
加茂 文子 山崎 孝弘
大矢根秀明 黒田 美智
角田 慎司 秋田 修一

令和8年度川西市介護保険事業特別会計補正予算（第1回）

質問 市内介護事業者に対するケアプランデータ連携システム導入促進補助金として850万円を追加しようとしているが、介護事業所の負担軽減に係る市の見解や事業者等への周知方法を伺いたい。

答弁 ケアプランデータ連携システムは、データを電子化することにより、事務負担の軽減が図れるものと考えている。なお、市ホームページのほか、かわにしサポートナビを通じて事業者等に広く周知す

ることに加え、市介護保険サービス協会や県介護支援専門員協会などと連携しながら事業者への普及啓発に努めたい。

川西市子ども教育基金条例の制定について

本案は、教育環境の充実を図ることを目的に川西市子ども教育基金を設置するため、新たに条例を制定しようとするものである。

質問 子ども教育基金を設置することになった経緯や、基金の活用に対する市の考えを伺いたい。

答弁 市民から1億円の寄付があり、寄付者の意向が具体的に見える形にしたいと考え、この基金を設置しようとするものである。

答弁 基金の活用については、子どもたちの教育環境の向上に使ってほしいとの寄付者の意向を踏まえて、子どもが主体的に学ぶ環境づくりに役立てていきたいと考えている。

建設常任委員会

委員 (委員長) 〇 副委員長 〇

〇 斯波 康晴

〇 内山 裕介

岡田龍太郎

長田 拓也

平岡 譲

西山 博太

岡 留美

吉岡 健次

旧南部処理センター解体及び造成工事請負契約の変更について

本案は、解体工法の変更に伴う減額等により契約金額を変更するにつき、議会の議決を求めるものである。

質問 解体工法を部材解体工法から素屋根工法に変更したこと*が契約変更に至った要因の一つであるが、当初から素屋根工法を選択しなかった理由を伺いたい。

答弁 解体工法については、設計時に十分検討した上で部材解体工法を選択していたものの、契約の相手方から、着工後、より安全性が高く、作業を効率的に進められるとの提案があったため、解体工法を変更したものである。



旧南部処理センター

令和8年度川西市下水道事業会計補正予算(第1回)

質問 ウォーターPPPを導入することで得られるメリットに

ついて伺いたい。また、包括した業務となり、契約規模が大きくなることから、市内事業者が受注しにくくなる*と危惧するが、市の考えについて伺いたい。

答弁 ウォーターPPPを導入するメリットについては、事業規模が大きくなることから、業務などに係る経費が縮減できると考えている。また、市内事業者に発注する重要性は認識しており、今後、公募条件などの検討における受託希望事業者との対話を通じて、より地域に貢

献できるようなものとしていきたいと考えている。

賛成意見 本補正では、国が進めるウォーターPPP導入に向けた発注支援業務委託を実施するための経費が計上されているが、水に関わるサービスを、国交付金の交付要件とはいえ、ウォーターPPP導入を前提として進めることは、環境衛生の面で大きな問題であり、住民の命の安全に懸念があることから、この制度導入自体に賛成できないため、本案に反対する。

7月臨時会

(仮称) 市立多田子ども園整備工事請負契約案件などを審議

第3回臨時市議会が7月8日に招集され、(仮称) 市立多田子ども園整備工事に係る契約案件に加え、物価高騰による負担を軽減するための子育て世帯支援策に係る経費の補正予算案が市長から提出されました。

提出議案については、10日に常任委員会を開催し、審査しましたが、まず、総務生活常任委

員会では、高校生以下の市民とその保護者を対象とした市内プールと知明湖キャンプ場を無料開放するための経費の補正について審査しました。

また、厚生文教常任委員会では、子ども園整備工事の契約案件に加え、中学生を対象とした地域クラブの支援経費の補正について審査しました。

この後、13日の本会議において、これら二つの議案を原案のとおり可決し、臨時会を閉会しました。

審議結果等一覧

第2回川西市議会(6月定例会)

※網掛けされた議案は賛否が分かれたものを示す

議案番号	議案名	内 容	審議結果等	付託委員会
報告第2号	令和7年度川西市一般会計予算の継続費繰越しについて	公共施設マネジメント事業 ほか2件	報 告	—
報告第3号	令和7年度川西市一般会計予算の繰越明許費繰越しについて	住民基本台帳および印鑑登録事業 ほか17件	//	—
報告第4号	令和7年度川西市介護保険事業特別会計予算の継続費繰越しについて	介護保険総務管理事業	//	—
報告第5号	令和7年度川西市水道事業会計予算の改良工事費及び5期拡張工事費の繰越しについて	配水管改良工事 ほか1件	//	—
報告第6号	令和7年度川西市下水道事業会計予算の建設改良費及び営業費用の繰越しについて	委託料、工事請負費、修繕費	//	—
報告第7号	専決報告について 専決第2号 川西市税条例等の一部を改正する条例の制定について	軽自動車税の環境性能割の廃止 ほか	承認 (賛成多数)	—
同意案第1号	公平委員会委員の選任について	公平委員会委員の任期満了に伴い、藤田英子氏を再度選任する	同意 (全員賛成)	—
議案第38号	ごみ収集車(2トンパッカー車)の買入れについて	ごみ収集車(2トンパッカー車)を買い入れる	原案可決 (全員賛成)	総務生活
議案第39号	資機材搬送車の買入れについて	資機材搬送車を買い入れる	//	//
議案第40号	旧南部処理センター解体及び造成工事請負契約の変更について	旧南部処理センター解体及び造成工事請負契約に関し、解体工法の変更に伴う減額等により、契約金額を変更する	//	建設
議案第41号	川西市税条例及び川西市都市計画税条例の一部を改正する条例の制定について	医療費控除の特例の適用期限が延長されることなどに伴う規定の整備、固定資産税の免税点の改正 など	//	総務生活
議案第42号	川西市印鑑条例の一部を改正する条例の制定について	在留カード・特別永住者証明書に個人番号カードの機能を付加した特定在留カード・特定特別永住者証明書でも印鑑登録証明書を取得することが可能となることから所要の規定を整備する	原案可決 (賛成多数)	//
議案第43号	川西市消防団員等公務災害補償条例の一部を改正する条例の制定について	非常勤消防団員等が公務等により死亡した場合における葬祭補償に係る定額部分の額を改正する	原案可決 (全員賛成)	//
議案第44号	川西市福祉医療費の助成に関する条例の一部を改正する条例の制定について	兵庫県福祉医療費助成制度において、高齢期移行者の所得要件の基準が変更されることから、条例の一部を改正する	//	厚生文教
議案第45号	川西市子ども教育基金条例の制定について	子どもの教育環境の充実を図るために子どもの教育に関する基金を新たに設置するため、条例を制定する	//	//
議案第46号	令和8年度川西市一般会計補正予算(第1回)	ウォーターPPP発注支援業務委託の実施に伴う下水道事業会計への補助 ほか	原案可決 (賛成多数)	総務生活 厚生文教 建設
議案第47号	令和8年度川西市介護保険事業特別会計補正予算(第1回)	ケアプランデータ連携システムの導入に対する補助に要する費用を追加する	原案可決 (全員賛成)	厚生文教
議案第48号	令和8年度川西市下水道事業会計補正予算(第1回)	ウォーターPPPの導入に向けた発注支援業務委託の追加 ほか	原案可決 (賛成多数)	建設
議案第49号	川西市総合体育館大規模改修工事請負契約の締結について	川西市総合体育館の大規模改修工事を実施するため、工事請負契約を締結する	原案可決 (全員賛成)	総務生活
意見書案第1号	カルテ等医療記録の保存期間見直しと保存体制の整備を求める意見書	11面参照	原案可決 (賛成多数)	—
意見書案第2号	適格請求書等保存方式(インボイス制度)の廃止を含む抜本的な制度見直しを求める意見書	適格請求書等保存方式(インボイス制度)は、小規模事業者等に税・事務負担増または取引排除のリスクを負わせ、物価高騰の中で経営を圧迫している。国の支援も不十分なため、市議会は事業者と国民生活を守るべく、制度の廃止を含む抜本的な見直しを国に強く要望する。	原案否決 (賛成少数)	—
意見書案第3号	小・中学校におけるさらなる少人数学級推進と義務教育費国庫負担制度の堅持を求める意見書	11面参照	原案可決 (全員賛成)	—
請願第2号	『小・中学校におけるさらなる少人数学級推進と義務教育費国庫負担制度の堅持』を求める請願書		採 択	—
議員提出議案第1号	川西市議会議員の議員報酬等に関する条例の一部を改正する条例の制定について	議員報酬を改選後から10%削減する	原案否決 (賛成少数)	—

第3回川西市議会(7月臨時会)

※網掛けされた議案は賛否が分かれたものを示す

議案番号	議案名	内 容	審議結果等	付託委員会
議案第50号	(仮称)市立多田こども園整備工事請負契約の締結について	(仮称)市立多田こども園整備工事を実施するため、工事請負契約を締結する	原案可決 (全員賛成)	総務生活
議案第51号	令和8年度川西市一般会計補正予算(第2回)	物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金を活用し、物価高騰の影響を受ける子育て世帯への支援策に係る補正	原案可決 (賛成多数)	総務生活 厚生文教

賛否の状況

※賛否が分かれたもののみ掲載

賛成：○ 反対：× 早退：—

会派名		公明党					川西まほろば会					連合かわにし 市民の会				日本維新の会 川西市議団				日本共産党 議員団		市民 ファースト かわにし		無所属	
議案名	議員名	平岡	山崎	榮	大崎	大矢根	秋田	松隈	岡田	加藤	西山	中井	福西	川北	岡	田中	内山	角田	坂口	黒田	吉岡	北野	斯波	加茂	長田
	譲	弘	津子	淳正	秀明	修一	紀文	龍太郎	仁哉	博大	成郷	勝	将	留美	麻未	裕介	模司	美佳	美智	健次	紀子	康晴	文子	拓也	
第2回 定例会	報告第7号	○	○	○	○	△	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	○	○	○
	議案第42号	○	○	○	○	△	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	○	○	○
	議案第46号	○	○	○	○	△	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	○	○	○
	議案第48号	○	○	○	○	△	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	○	○	○
	意見書案第1号	○	○	○	○	△	×	×	×	×	×	○	○	○	○	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○
	意見書案第2号	×	×	×	×	△	×	×	×	×	—	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○
	議員提出議案第1号	×	×	×	×	△	×	×	×	×	—	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×
第3回 臨時会	議案第51号	○	○	○	○	△	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	×	○	

* 地方自治法の規定により、大矢根秀明議長は議員として議決に加わる権利を有していません。(ただし、可否同数のときは議長の決するところによる)

質 問 一 般

※見出しの下のQRコードを携帯電話等で読み込むと、各議員の発言の様子をご視聴いただけます。

福祉

高齢者移動支援の進捗状況は



日本共産党議員団 北野 紀子

質問

高齢者が住み慣れた地域で自分らしい生活を続けられる環境づくりを進めるため、車両を使った移動支援の進捗状況を伺いたい。

答弁

令和6年7月から車両を使った移動支援を開始しており、地域における取り組みは着実に広がってきているが、持続可能な運営を可能にする仕組みづくりが課題となっている。今後も地域の実情に応じた移動支援の充実に努めていきたい。

その他の質問項目

○親なき後のオーダーメイド支援プランについて
ほか



高齢者の移動支援の様子

まちづくり

空き家の課税と管理強化市の今後の対応問う



川西まほろば会 岡田 龍太郎

質問

本市で空き家が増加しているが、空き家を流通させるための空き家税導入や大規模廃墟物件の放置解決に向けた条例制定など、市の対応方針を伺いたい。

答弁

市では、固定資産税の特例除き家放置の解決につながると考えている。大規模廃墟物件は、解体費用が課題だが、財産管理人制度での最低限の管理などを求めている。

その他の質問項目

○共同送迎サービス「ゴイッショ」について

福祉

増加する単身高齢者市の終活支援の現状は



公明党 榮 奈津子

質問

今後十数年間わが国では、身寄りのない単身高齢者が増加し、家族が全面的に支援することを前提としない、意思決定支援の仕組みが必要との指摘もあることから、本市の終活支援を伺いたい。

答弁

本市では、エンディングノートや終活便利帳を配布するほか、成年後見支援センターかけしで、出前講座を実施し、成年後見制度や終活の普及啓発に努めている。その他の質問項目

防災

ペット防災リーダー育成市の支援体制問う



川西まほろば会 西山 博大

質問

災害時の避難所における避難者とペットのトラブル等を

防止するため、ペット防災リーダーの育成が不可欠であると考えてるが、市の支援策を含むペット防災リーダーを育成する考えについて伺いたい。

答弁

ペットも含めた避難所運営ができる人材については、避難所の開設・運営訓練でペットとの同行避難や同室避難を進める中で必要になってくると考えている。まずは、専門家などから助言を得ながら、職員はもとより、担い手の確保や支援方法等について検討していきたい。

教育

地域とのつながり維持に向けた副籍制度の現状は



日本維新の会 川西市議員団 角田 慎司

質問

副籍制度は、特別支援学校に在籍する児童生徒が、居住地域とのつながりを維持するため、居住地の小・中学校の学級にも籍を置く制度であるが、学校行事の参加などに関する最低限の運用基準の必要性について、市の見解を伺いたい。

答弁

副籍を置く児童等の行事参加断するものと認識しており、一律の基準を設けることは想定していないが、この取り組みに学校間で差が生

しないよう、学校間でも情報共有を図りながら進めていきたい。

市民活動

市民参画に向けて審議会等の情報公開の改善を



市民ファーストかわにし 加茂 文子

質問 令和6年度市民実感調査によると、情報提供不足が市民参画の妨げになっているとうかがえる。そこで、審議会等の情報公開の在り方について見解を伺いたい。

本市の審議会は、原則公開で、開催情報は市ホームページ等で周知しており、会議録も速やかに公表している。今後も市民に必要な情報が届くよう、ホームページの掲載方法などを検討していきたい。

答弁

○こどもの居場所づくりについて
ほか

選挙

投票率向上へ 投票済証デザイン公募の考えは



川西まほろば会 加藤 仁哉

質問 各種選挙の投票後にその証明として交付される投票済証について、全国の自治体で投票率の

向上を目的にデザインの工夫などに取り組まれているが、本市の状況を確認したい。

投票済証については、若年層への選挙啓発の一環として、10月の市長と市議会議員の選挙に向け、市内の中学生や高校生からデザインを公募することを検討している。

答弁

○大規模災害・広域火災に対応する防災体制について
ほか

その他の質問項目



投票済証デザイン募集ポスター

環境衛生

使用済み電池の回収 絶縁方法の周知強化を



無所属 長田 拓也

質問 市は、令和8年4月から、使用済み充電式電池の回収を

始めたが、排出時の絶縁方法に不明瞭な点があり、一部の地域で混乱が生じているため、詳細を伺いたい。

充電式の二次電池には、使い切りの一次電池と判別が難しいものがあるため、処理施設の火災事故防止の観点から、全ての電池の電極に絶縁テープを貼ることを求めたが、テープの種類や具体的な方法を、引き続き周知していきたい。

答弁

○交通整備について
ほか

その他の質問項目

住宅

空き家助成の対象拡大 共同住宅にも適用を



公明党 平岡 謙

質問 本市の空き家活用リフォーム助成制度では、助成対象が市街化区域内の一戸建て住宅と長屋住宅となっているが、共同住宅も対象とする考えはないか伺いたい。

国の調査では、若年・子育て世帯が中古マンション取得世帯の一定割合を占めるとともに、高齢化するマンションへの対応も課題となるため、共同住宅の実態把握を進め、助成を検討していきたい。

答弁

その他の質問項目

○本市における障がい児保育充実の

ための専門職の活用について

窓口サービス

行政手続DX化に向けた市の取り組みは



川西まほろば会 松隈 紀文

質問 市民の利便性に直結する「行かない市役所」と「書かない・待たない窓口」の実現に向けた本市の取り組みについて伺いたい。

行かない市役所の実現には、対面確認や原本確認が必要

答弁

な手続など、さまざまな課題があるほか、デジタル機器の利用に不慣れた方々への配慮も不可欠であるため、デジタルとアナログの利点を組み合わせた体制を整えることが重要と考える。まずはオンライン化が可能な手続から進め、市民に便利で安心な行政サービスの実現を目指していきたい。

福祉

もしもの時に備えるACP 本市の現状は



連合かわにし市民の会 岡 留美

質問 国が提唱するアドバンス・ケア・プランニング（ACP）は、もしもの時のために自分が望む

7

医療やケアを前もって考え、患者の意思決定を支援するプロセスであるが、本市の取り組み状況を伺いたい。

答弁

本市では、高齢者が地域で安心して医療や介護が受けられるよう、「つながりノート」（全3冊）で情報共有を推進し、1冊目は市医師会のACPを採用している。

その他の質問項目

○「制度の狭間にある人」への対応について

行政一般

理念を暮らしの実感へ
市長が示す未来と責任は



連合かわにし市民の会 中井 成郷

質問 市政に最も重要なことは、理念を暮らしの実感に変えていく責任だと考える。そこで、市長は

川西市の未来に対し、どのように責任を果たしていくのか伺いたい。

答弁

私たちが直面している最大の課題は、本格的な人口減少社会の到来である。今後、新たな参画と協働を実現し、共に歩む市政を一層進めたいと考えており、引き続き市長の役割を果たす覚悟である。

その他の質問項目

○ごみ収集作業員の安全確保について

情報化

誰一人取り残さない
DX推進を



公明党 大崎 淳正

質問 DX推進には、誰一人取り残さない視点が重要であるが、

デジタルに不慣れな高齢者等への支援に加え、地域団体や民間事業者と連携した取り組みを伺いたい。

答弁

高齢者等への支援は、昨年度から民間事業者や地域団体と連携し、スマートフォン操作やキヤッシュレス決済に関する講座を公民館などで開催しており、今年度は車面での移動型の講座も予定している。

その他の質問項目

○自治会活性化に向けた「地域づくり支援補助金」の有効活用について

福祉

視覚障がい者の訓練拠点
市の現状認識と方針は



日本維新の会 川西市議団 坂口 美佳

質問

市内には、視覚障がい者が自立した生活を送るために歩行訓練や日常生活訓練の拠点となる施設がないが、この課題に関する市

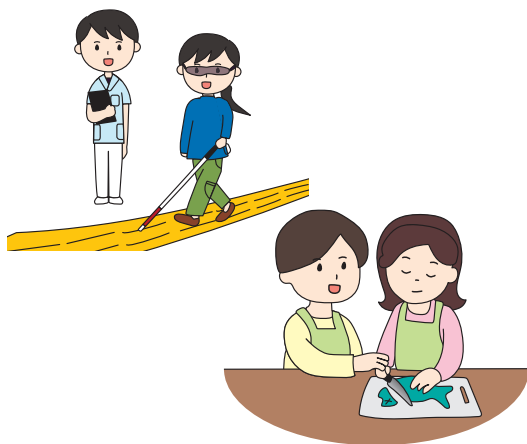
の認識と現状の評価を伺いたい。

答弁

視覚障がい者の自立訓練を実施するには、高度な専門知識と技術が必要であり、一定圏域に専門的な中核施設を整備するほうが質の高い支援ができ、有効だと考える。今後は、市内でも出張訓練が受けられるといった情報提供に努めたい。

その他の質問項目

○視覚障がい者支援について



子ども・子育て

社会移行 小学生の
クラブ費支援を問う



日本共産党議員団 黒田 美智

質問

就学援助制度におけるクラブ活動費の援助について、国の制度では小学校または中学校のクラブ

活動を対象としているが、本市は小学校を対象としていない。そこで、中学校の部活動の社会移行に伴い、小学生が地域クラブに加入した場合の対応について伺いたい。

答弁

地域クラブの中には、小学生も交えて中学校と連携し活動しているクラブがあると聞き及んでいることから、就学援助における小学校のクラブ活動費の必要性について研究していきたい。

企画財政

施設再編と負担増
プロセスの透明性を問う



市民ファーストかわにし 斯波 康晴

質問 本市における受益者負担の見直しや公共施設の再編には、

市民からの不安や不満があり、その背景には、これらの見直し等に係るプロセスの見えにくさが影響していると考え、市の認識を伺いたい。

答弁

受益者負担の見直しや公共施設の再編に係る大きな方向性は、多くの市民に理解いただいていると認識する一方で、見直しの対象となった当事者からは、プロセスよりも結果に対して一定の反対意見があることから、丁寧に説明をしながら対話を続けている。

都市整備

歩道植栽の在り方と今後の展望をただす

川西まほろば会 秋田 修一



質問 歩道の植樹や植栽の役割が変化しているが、維持管理の計画など、今後の展望を伺いたい。

答弁 街路樹は、単なる景観要素ではなく多面的な機能を有しているが、維持管理費増大などの課題が顕在化してきた。そこで市は街路樹維持管理計画を策定し、安全で快適、円滑に移動できる歩道空間の確保を主眼に街路樹が効果的に機能を発揮できるよう検討を進めている。

その他の質問項目

○小学校における放課後の在り方について

防災

映像通報システム「Live 119」導入の考えは

連絡がわにし市民の会 川北 将



質問 映像通報システム「Live 119」は、消防指令センターの職員がスマートフォンの映像で現場の状況を確認し、状況把握や応急手当の指導ができるシステムであるが、導入の考えを伺いたい。

答弁

このシステムについては、消防指令センターを共同運用する宝塚市と猪名川町と共に研究しており、今後、費用面や運用面などを調査し、導入を検討していきたい。

その他の質問項目

○重層的支援体制整備事業の推進について

商工

起業家の挑戦 市の支援で後押しを

公明党 山崎 孝弘



質問 新たな起業家の輩出を通じて優良な事業者が本市から生まれることを期待している。そこで、今後起業を検討している事業者に対する市の支援の在り方を伺いたい。

答弁 現在、女性起業塾や商工会開催のセミナーなど、多角的に起業家を支援しており、今後は、地域経済の活性化に向け、市と商工会が連携・協議し、より実効性の高い支援体系を構築していきたい。

その他の質問項目

○本市における小学生及び中学生向けの暑さ対策について ほか

子ども・子育て

保育時間 地域の実情に合った見直しを

日本維新の会川西市議団 田中 麻未



質問 本市の市民は、市外への通勤者も6割を超え、共働き世帯も多く、国基準の保育標準時間では実態と合わず、送迎が困難な家庭もある。そこで、このような地域特性を前提とした子育て支援を実施すべ

きとと思うが市の考えを伺いたい。

答弁

本市の地域特性は認識しているが、特定の通勤地域に特化するのではなく、多くの保護者が抱える課題解決を優先し、保育定員の拡大や病児保育の充実に努めており、個別の事業で検討可能な場合は、通勤状況等も配慮して検討している。

福祉

孤独・孤立対策 本市の現状と協議会設置は

日本維新の会川西市議団 内山 裕介



質問 現在国では、孤独・孤立に関する取り組みが進められているが、本市の現状と、この対策に必要な情報交換や支援内容に関する協議を行う孤独・孤立対策地域協議会を設置する考えについて伺いたい。

答弁

本市独自の孤独・孤立のリスクは把握していないが、国の調査結果から、さまざまな課題の根底にあると認識している。

本市では、複合的な課題に対応するため、単一の協議会ではなく、他機関と横断的に連携する体制が必要であると考えている。

委員会 視察 報告

総務生活常任 委員会

●実施日

令和8年5月18日・19日

●視察事項

東京都墨田区

「防災 参加型避難所運営に
ついて」

東京都町田市

「デジタル技術を取り入れ
た改革の取り組みについ
て」

●視察委員

松隈 紀文 加藤 仁哉
榮 奈津子 大崎 淳正
福西 勝 中井 成郷
坂口 美佳 北野 紀子



町田市役所にて

墨田区では、地域住民が主体となる参加型避難所運営を学びました。平時から町会や学校、行政が連携し、顔の見える関係づくりを進めていることに加え、中学生が防災クラブとして地域の訓練に参加し、将来の防災リーダーを育成している点が大変印象的でした。

町田市では、デジタル技術を活用して市の業務を効率化し、職員の負担軽減と市民サービスの向上を図る取り組みを学びました。限られた人材や財源を有効活用し、市民対応や政策立案の充実を図る姿勢が印象的でした。

今回の視察で得た学びを川西市の防災力向上と、より便利で質の高い

行政サービスの実現につなげられるよう、委員会として提案を続けてまいります。

(委員長 中井 成郷)

厚生文教常任 委員会

●実施日

令和8年5月11日・12日

●視察事項

新潟県妙高市

子ども・若者の成長・交流・つながりの場づくり
について」

石川県小松市

「重層的支援体制整備事業
の取組について」

●視察委員

加茂 文子 山崎 孝弘
大矢根秀明 黒田 美智
角田 慎司 川北 将
秋田 修一 田中 麻未

妙高市では、高校生の誰もが学校帰りなどに気軽に立ち寄れる場として「妙高みんなの寄り道BASE」を設置している点が特徴的でした。高校生の意見を取り入れながら、イベントや空間づくりを進め、地域の

愛着形成を図るなど、人口減少対策を含む取り組みでした。

また、小松市の重層的支援体制整備事業では、既存の相談機関を活用しつつ、「くらしあんしん相談センター」が横断的な調整役となり、介護、障がい、子ども、生活困窮といった分野の複雑化した課題を抱えるケースに対応するほか、相談者をたらい回しにしないワンストップの支援体制も参考となりました。

本市においても、子ども・若者が安心して過ごせる居場所づくりや、分野横断的な相談支援体制の充実をさらに進めていく必要性を委員全員で共有しました。

(委員長 田中 麻未)



小松市役所にて

受理した陳情

○児童の防犯意識向上と実践的スキルの習得に関する陳情

カルテ等医療記録の保存期間見直しと保存体制の整備を求める意見書〈要旨〉

現行の診療録（カルテ）の保存期間は5年間で、各種診療に関する諸記録については2年間とされており、慢性疾患の増加や新医療技術の登場で長期管理の必要性が増す現代医療の実態に合わない。適切な診断や医療DX推進のためにも、医療記録の長期保存は不可欠である。そこで、カルテ等医療記録の保存期間について、現行制度の必要な見直しを行うこと、医療機関の負担とならな

いよう、電子カルテ保存の標準化、国・自治体・医療機関の役割分担及び費用負担の在り方について検討を進めること、長期保存に必要なセキュリティ対策及びデータ保全体制について、国として技術的及び財政的支援策を講ずること、患者が自己の医療情報にアクセスできる仕組みを整備すること、個人情報保護法に基づく安全管理措置を徹底することを強く要望する。

小・中学校におけるさらなる少人数学級推進と義務教育費国庫負担制度の堅持を求める意見書〈要旨〉

小・中学校のさらなる学級編制標準の引き下げ等、少人数学級について検討すること、自治体が3分類を踏まえた働き方改革を実行するために必要な財政措置を講じること、学校の働き方改革や長時間労働の是正を実現するため、教職員定数改善を推進すること、子どもの豊かな学びと育ちを保障するため、学習指導要領の内容の精

選等を行うこと、学級編制基準の弾力的運用を効果的に実施できるよう加配教員の削減は行わないこと、教職員未配置問題の解消に向けて、必要な財政措置を講じ人材確保に努めること、義務教育費国庫負担制度を堅持することを強く要望する。

●●●● かわにし市議会からのお知らせ ●●●●

一般質問を行う本会議および決算委員会の日は午前9時30分から始めます

一般質問および決算委員会（9月8日を除く）を予定している日は、午前9時30分開議となりますので、ご注意ください。

また、本会議のほか、議会運営委員会、常任・特別委員会などについては、本会議と併せて開催予定をホームページ等に掲載していますので、傍聴の際の参考にしてください。

なお、急きょ会議の開催予定が変更になることがありますので、最新の情報はホームページをご覧ください。だくか、市議会事務局へ直接お問い合わせください。

9月定例会（予定）

8月 24日（月）	午前10時	本会議（招集日）
31日（月）	午前9時30分	本会議（一般質問）
9月 1日（火）	〃	本会議（ 〃 ）
2日（水）	〃	本会議（ 〃 ）
3日（木）	午前10時	常任委員会
4日（金）	〃	〃
7日（月）	〃	〃
8日（火）	〃	決算委員会
14日（月）	〃	本会議（議案上程）
17日（木）	〃	本会議（最終日）

閉会中の継続審査（予定）

9月 24日（木）	午前9時30分	決算委員会
25日（金）	〃	〃
28日（月）	〃	〃
29日（火）	〃	〃
30日（水）	〃	〃

10月臨時会（予定）

10月 8日（木）	午前10時	本会議（招集日）
-----------	-------	----------

議会基本条例の検証結果について

川西市議会では、議会の在り方や果たすべき役割などを明らかにするため「議会基本条例」を制定しています。
平成29年4月の施行以来、来年4月で施行10年となりますが、本条例の目的が達成されているか、達成に向けた改善の余地はないかといった視点で、議会において検証いたしました。
その結果が、令和8年6月にまとまりましたので、今号でお知らせいたします。

検討の概要

令和6年6月28日	議会基本条例の見直し（検証）に関する提案がなされる
令和6年10月8日	先進都市行政視察 （福岡県筑紫野市議会：議会基本条例の検証について）
令和7年2月20日	議会改革の取り組みとして議会基本条例の検証を進めることを決定
令和7年5月26日 令和7年7月29日	議会内に「基本条例検証会議（うち広報分野は、広報検証会議）」を設置し、基本条例に定める取り組み等に関する課題や改善点について検討を開始
令和7年6月5日 ～令和8年5月26日	基本条例検証会議：全10回開催 広報検証会議：全10回開催
令和8年6月10日	「基本条例検証会議・広報検証会議」における検討が終了。議会運営委員会へ最終報告

主な検討・改善項目

○議員定数の在り方について

- （内容）近隣自治体の状況を把握し、定数削減をすべきではないか
- （結論）定数削減すべき意見と現状維持の意見があり、まとまらず現状維持とする

○政務活動費の取り扱いについて

- （内容）キャッシュレス決済の進展により、原則現金払いのみでは、購入するものによっては安価に購入できなかったり、そもそも購入できないこともあることから、他の決済方法についても検討すべきではないか
- （結論）クレジットカード決済を導入することとするが、当該カード利用により得られるポイントの取り扱いは、政務活動費購入費用に充当することを原則とするなど、公正な執行に留意する

○本会議の映像配信について

- （内容）現在は会議日から約10日後に編集後の録画映像が配信されているが、内容によっては速報性が求められることもあるため改善できないか
- （結論）無編集動画の配信を、令和8年6月議会から会議開催日の翌開庁日の午後に配信する

○議会ホームページの見直しについて

- （内容）議会ホームページや掲載情報を改善できないか
- （結論）以下のとおり改善する
 - ・トップページ中の「会議録検索」「市議会だより」「議会議中継」のメニューアイコンをできるだけ上に配置して見やすくする
 - ・可決された意見書および請願をホームページ内で掲載する
 - ・ホームページ内で掲載する議決結果資料に各議員の賛否の状況を追加する

広報委員会

委員長	川北 文子
副委員長	加茂 紀子
委員	松隈 紀文
	ス波 康晴
	榮津子
	角田 奈津子
	中井 成郷
	田中 麻末
	北野 紀子

今年度の夏も猛暑となっていることから、猪名川花火大会は熱中症や安全対策を考慮し、令和8年11月7日に開催、打上げ時間も午後6時に変更されます。皆さまも熱中症対策や水分補給を心がけるとともに、大雨や急な天候変化にも十分備え、健康に留意してお過ごしください。

今号では、6月定例会・7月臨時会の議案審議や議会基本条例の再検証を踏まえた議会の取り組みについて掲載しています。市議会としても市民の暮らしが良くなるにはどうすべきかを視点に議論をしています。興味を持ってお読みいただくと幸いです。

後記
編集
お読みいただき、ありがとうございます。
サッカード杯で
の日本代表の奮闘は、多くの人に
勇気と希望を与えました。世界の
強豪に果敢に挑む姿や試合後に
フアンヘー礼する姿は、日本中に
前向きな気持ちと誇りを広げたの
ではないでしょうか。